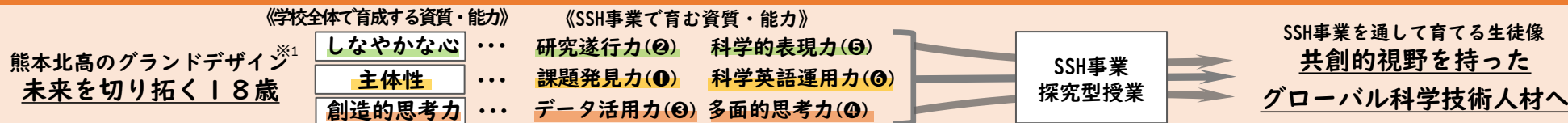


第Ⅲ期研究開発題名：

共創的視野を持ったグローバル科学技術人材育成のための教育カリキュラムの開発と普及



【現在】Ⅱ期を終えた熊北SSH

応援・期待され、頼られるSSHに
保護者や生徒、地域からの期待・応援 / 校内の総合的な探究等を支援・連携
(2年文系・英語科)

熊本北高の強み

- ・生徒の興味・関心をベースとした課題研究の積み重ね
- ・県内唯一の英語科としての実績
- ・オンライン及び職員研修ワークショップの先進校として九州SSH指定校を牽引

【目指す姿】Ⅲ期を終えた熊北SSH

地域拠点校として応援・期待され、頼られるSSHへ
課題研究指導者養成拠点 / 科学英語教育推進拠点 / 共創的科学人材育成拠点
熊本北高Ⅲ期の挑戦

- ・3学科3年間の課題研究のための校内体制を確立
- ・ハイブリッド型国際科学フォーラムの実現
- ・他校への成果普及や国内外の学校、大学等との共同研究の実現

研究開発：

R★課題研究の拡充と「KUMAKITA
トリット（課題研究支援パッケージ）※2」の普及

- ・課題研究を通して生きる力を育み、自分らしく生きられる生徒を育成

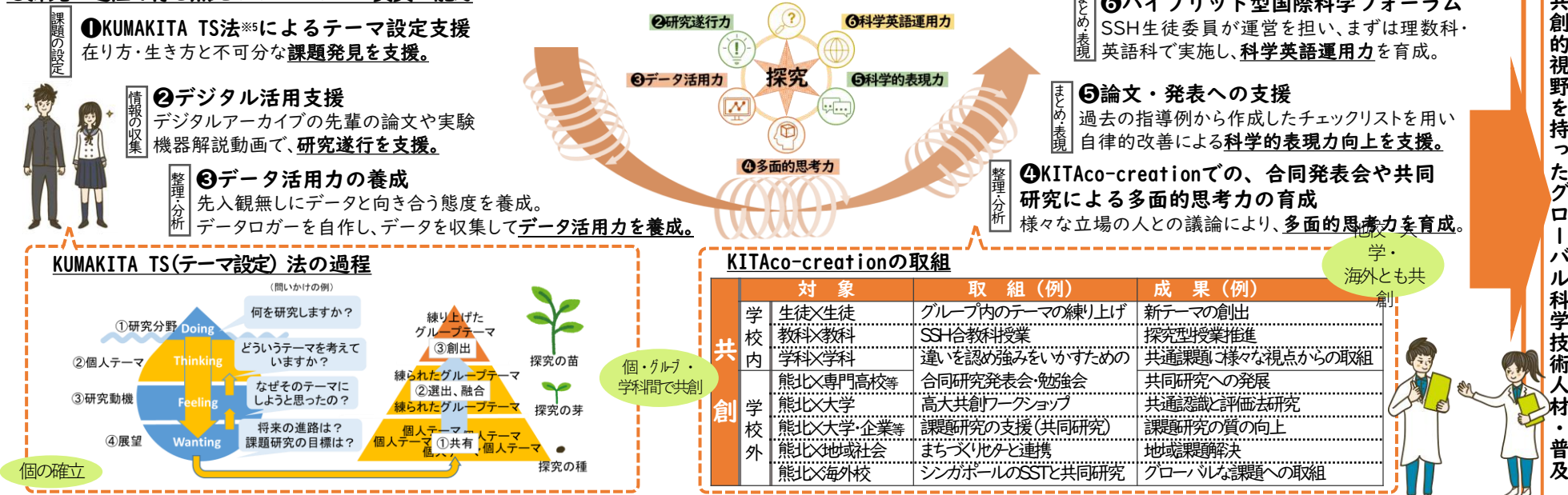
L★グローバルサイエンスリーダー育成
のための教育プログラムの開発

- ・全員参加型で、オンラインも活用し、国際性・科学英語運用力を向上
- ・大学や研究機関と連携し、先端科学に向き合う姿勢を育む

C★「KITAco-creation(共創的課題研究支援体制)※3」
の開発

- ・違いを認め、違いから学び、新たな価値を創造できる科学技術人材を育成
- ・KUMAKITAルブリック※4を共有ビジョンに、大人も学び合い、支え合う学校・地域へ

◎探究の過程で育む熊北SSHの6つの資質・能力



※1 1～2ヶ月に1度の全職員参加型ワークショップを、1年半継続して実施し作成

※2 熊本北高校で開発した課題研究支援に関わる方法一式

※3 様々な立場で連携・協力して課題研究を推進する共創的支援体制

※4 課題研究を中心としたSSH事業を通して育った卒業生の姿から作成。全てのSSH事業がKUMAKITAルブリックと繋がると整理

※5 主体性を発揮し積極的に研究を進め大学進学等へと繋がった実践事例から抽出したテーマ設定方法